

主婦の手帖



糸瓜化粧水

家庭で簡単に出来る化粧水の作り方を御紹介しよう。
この家庭でも作つていらつしやる糸瓜のつるを十月下旬頃に根元を切つて瓶にさし、口の所を覆つて埃の入りぬ様に糸瓜水をこります。

材料

- へちま水 百グラム(約二七匁)
- 朝 砂 ニグラム
- グリセリン 四グラム
- アルコール 十グラム
- 香料適宜(数滴)
- 色付(黄緑色)少々

- 1.へちま水を鍋に入れ煮沸して冷却する。
- 2.朝砂を入れてよくまぜる。
- 3.アルコールを入れる。
- 4.香料をグリセリンでこいて入れる。うすく色を付ける。
- 5.以上出来たものを二回位白い布でこす。
- 6.小瓶に詰める。

作業衣の手入

山の緑も濃くなりいよいよ冬が近

づいてまいります。私達の仕事に最も関係の多い作業衣はよく手入れがこまかい居るでしようか。いつも必要な作業衣は味にさつぱり洗濯されたものを身につけるようにしよう。

作業衣は仕事の為の衣服ですから汗や島の土やホコリなどで汚れたら小屋のクギに作業衣をひっかけたま、又明日の朝その汚れた着物に着更えて島に出て行くと言ふ事はしないでしようか。
作業衣は納戸のシミに置いたり、納戸のクギなどに引かけたりしないで特に手まめに洗つ習慣をつけよう。汚れたまの着物を洗つておかないでそのまゝ長い間着ておくと汚れは層層とくたまって布目が汚れてつまつてしまひ、汗がよくこれず又風通しも悪いので一層蒸暑くその着物の命も短くなつてしまふのです。
殊に雨が二、三日降り続いたときにはカビが生えて着物の生地をいためてしまひます。着物の生命は短くなりまふので、出来るだけ度々汚れた着物は洗濯して長持ちするように、石鹸をつけたいものです。
よく、石鹸がないからさか又あつても値段が高いから云つて洗濯しない人が多いようですが、石鹸を使わないでも洗濯の出来る方法



俳句

名月や
虫の音高く
秋深し
雨降る窓辺
小雨しとしと
降る窓で
ぬれたひさみの
物思い
いつも喉に浮ぶのは
異国に在りし
友の顔

があります。一番よい事は作業衣はなるべく風呂の残り湯で洗ひ、た水を利用して灰汁で洗滌する事です。毎日洗うようにする石鹸でゴシゴシ泡を立て、洗ふ必要はなく時たま石鹸を使い、その布地もいたまさんで長持ちし経済的にも負担にならずに自分の心がけ一つでさつぱりしたものを着て働けます。
又毛織物や絹物の作業衣の時はミカンの皮の汁や米糠などで洗うよくおちます。
作業衣は山や島で働いているうちによく木の枝や竹などで破ける事

愛

愛はすべてに美しく
又暖かくなければならない
光の様に美しく
浮び流れる光の様に
線路工事
警笛を吹きならしつゝ
機関車は
我直せしレールの上を
走り過ぎゆく
今日も又無事故で
あれミ 心に祈る
木材輸送の一端を
にないし線路工事

無題

レールの良否が
事故の有無
ハンマー持つ手に
一心打ちこむ
私達は過去のわだかまりにさらわれる事なく、正しく強く、新しく、今日の光の中で新しい生命の輝きに生きぬこう。
毎日は過去に繋つて居る様に又将来に見知らぬ光、かく新しい日が繋つて居るのだ、
私はかく思う。
木 佐 貫 太
田代時報原稿募集について
一、田代時報編集部では、広く民皆様の御投稿をお待ちして居ります。
二、内容は何でもかまいません。
三、字数は出来るだけ十五字詰一四〇行以内して下さい。
四、締切 毎月二十日以内に公民館にお届け下さい。(二十日すぎても差支がなければ翌月号に登載致します)
五、原稿が余る場合は編集委員会に送附して登載願を求めます。
六、原稿はお返しいたしません。



第 1 4 号

発行所 田代村公民館
電話 2 番の乙
発行責任者 湯ノ谷米吉
編集責任者 小川 兵一
印刷所 田代市曾田町 6 6 4 7
南日本新聞社東部支社
電話 88-98, 126 番

10月は固定資産税
第2期の納期
荷車税に
劣らぬよう
みんな揃つて
100%

経済自立化運動

(14)

終戦後暫く農村を潤してくれた所謂農村景気も食糧事情の好転と社会状況の落付により情勢は徐々に逆転し最早今日では完全に転倒してしまつた。経済の復興は農村に移り而も尚且非常な勢で農村の金は都府会へ流れ居る。戦前戦時の如く小さい一島国で経済して居た吾等農家の経営は今日では世界全体に通ずる様になつた。即ちアメリカの麦、ビュルマ、シヤムの米、向遠くエジプト等の米、印度の綿、オーストラリアの羊毛、アフリカの茶等々現在取引して居るだけでも朝夕如何なる山の中の家でも直接此の世界農業の余波を受けるのではない。

反収を上げ働賃を少しし、獲れたものを高く売るこゝである。そのためには常に勉強せねばならぬ。親譲りの昔式の農業だけでは役に立たないのである。時には静かに世の中を考えて見よう。此処四、五年のうちだけでもこんなに変つて来たか、同じ吾々の農業にしても片時も油断の出来ない大競争である。自分の行くべきコースを早く見付けて最も間違のないところに進まねばならぬ。

経済自立化運動の計画は実行出来て居るか、実行出来て居なければ其の原因がどこにあるのかを究めたい。そんな小さい事でも計画に基いて実行する習慣を作らねばならぬ。明日の仕事は前日に、来年度の計画は今年に決めて合理的に実行するこゝである。



基本選挙人名簿

の調整について

公職選挙法第二十条の規定により市町村の選挙管理委員会は毎年九月十五日現在で十月三十一日まで基本選挙人名簿を調整しなければならぬ事となつて居り、目下部総務委員会にもお願してその準備を進めて居ります。従来までの状況を見ますと相当数の登録漏れか選挙の当日になつて発見され投票行使が出来ず度々気の毒な場面も見られましたので、今回は特に入念に調査し、かかることの絶無を期したいのであります。
今回の名簿は補充名簿と違ひ主として職権で以て調整致しますが、十月二十一日迄に調整し十一月五日から二十日間の一般の從覽に供します。十二月二十日確定する名簿であり、その中で、特にこの從覽期間中も再度確認され脱漏なき協力下さる事を望みます。
尚今回名簿に登録される方々は次の通りであります。
一、年令 満二十才以上のもの(昭和八年十二月二十一日以前の出生者)
註 年令は確定期日十二月二十日により算定する。
一、住所 昭和二十八年六月十六日以前から引続き田代村内に居住しているもの
註 住所期間とは名簿の調整期日より算定する。
註 2. 寮宿者又は下宿等に居住している学生生徒でその学資の大半を郷里から仕送りを受け休職等に歸省するもの及び一般保安隊員で家族に対して仕送り等をして居るものは村内に住所を有するものである。
又禁治産者とか禁こ以上の刑に処せられた者の執行を終るまでのもの等選挙権を有しないものは登録出来ません。

